

情報を正確にとらえよう（5年）

# 放送原稿を書こう

## 指導目標

事実と意見の関係に注意しながら、筆者の意図をとらえ、自分なりの意見を表現する。

伝えたいことがらをはっきりさせ、構成や書き方を工夫した放送原稿を書く。書く

## 教材について

自分の課題意識をもち、情報を収集し正確にとらえ、自分の意見を資料をもとに発信できる力の育成を意図している。特に、収集した資料から必要な事実を読み取り、それに対する自分の意見を述べる力を単元を通して育てていきたい。

児童は、調べた情報を整理し、放送原稿に書き、資料を効果的に使って番組を作るという言語活動に、興味をもって取り組むであろう。相手意識・目的意識・方法意識が具体的になることで表現方法を工夫でき、ビデオに撮ることで自己評価もできる単元になっている。

### （1）単元についてとらえる

説明的文章『森を育てる炭作り』は、現在の生活では一見目だたない存在の炭に焦点を当て、人間と自然とのかかわりや国際交流の様子まで深め広げる教材である。児童が、炭の機能や森と炭作りのはたらき、日本の炭作り技術を海外で役立てていく様子など、興味をもって読める内容になっている。一方で、文章全体の段落構成が、二つの内容をまとめる双括型になっている点は、読み取りづらいつらえられらる。事実と意見に注意して段落構成をふまえ、要旨を読み取る力をつけるよう学習を進めることが大切である。

『放送原稿を書こう』は、『森を育てる炭作り』の学習を生かし、構成や書き方を工夫して放送原稿を書き、発信者としてわかりやすく伝えることについて学ぶことをねらいとしている。

放送原稿を書くとき、児童は、収集した資料が多すぎてどこに焦点を当ててよいかわからなくなることが多い。また、文字言語で書かれた資料の文章をそのまま使い、話し言葉としての特性を理解していない場合もある。特に、話の要旨を初めに伝える構成は、『森を育てる炭作り』と異なる構成となる。構成は、児童の原稿例を参考にさせたい。

### （2）学習の流れをおさえる

そこで、単元の構成として、『森を育てる炭作り』の教材を放送原稿を書くための一つの資料として読み進め、資料をどんな切り口で読んでいけばよいかを学習していきたい。その中で、資料をそのまま写すのではなく、自分の使いたい事実を正しく読み取り短く整理することや、それぞれの事実に対して自分の考えをまとめる活動を取り入れていく。そして、「放送原稿を書くポイント」や牧野さんの原稿とを対応させて、『森を育てる炭作り』の教材で自分が興味をもった事実についての放送原稿を組み立て表にまとめていく。したがって、『森を育てる炭作り』の読解では、「放送原稿メモ」を書くための読みを意識することが大切になる。さらに発展させて、環境に関する自分の課題を追求し伝える活動を設定する。これにより、調べ・まとめ・表現するという言語活動が連続して行え、児童は、自分の考えを大切にしてい取り組むことができる単元構成になっている。

### （3）学習を深める

また、社会科の学習「情報 放送局で働く人々」と関連させ、自分たちで番組作りをするという目的意識をもたせる。一人一人がまとめた放送原稿をグループごとに読み合い、内容や表現方法などを吟味することによって、視聴者を意識した番組作りをさせていきたい。

学習指導計画（全15時間）

D案 『森を育てる炭作り』を資料として位置づける展開例

時	過程	学習活動	留意点・評価基準及び方法
第1時	課題をつかむ・見通しをもつ	「情報を正確にとらえよう」の単元全体を見通して、放送原稿を書いて番組作りをする目的意識をもち、原稿を書くための資料として第一教材を読み進めることを理解する。	社会科の学習「情報 放送局で働く人々」と関連させ、自分たちで番組づくりをするという意識をもたせる。
第2時		『放送原稿を書こう』の牧野さんの放送原稿を読み、どんな工夫が必要か話し合う。	<b>関</b> ：放送原稿の特質を見つけようとしている。（発表）
第3時	情報の読み取り・情報の整理	『放送原稿を書こう』の「放送原稿を書くポイント」と話し合ったことを比べて、放送原稿の書き方を理解する。	<b>言</b> ：文章にはいろいろな構成があることを理解している。
第4時		放送計画を立て、テーマについて決める。	<b>関</b> ：放送原稿に興味をもち、進んで計画を立てている。（ノート）
第5時		『森を育てる炭作り』の題名読みをする。	個人のイメージマップをもとに、学級で炭についてのイメージマップを作る。
第6時		・炭の作り方や使われ方について知っていることを出し合い、イメージマップを作る。	<b>関</b> ：友達の見意見を付け加えながら、炭についてのイメージを広げようとしている。（ノート）
第7時		・その中で「森を育てる」とことと関連がありそうなことを見つけ、どのように結びつくか予想する。	一つ一つの事実を画用紙のカードに書かせ、黒板に整理する。
第8時		『森を育てる炭作り』の全文を通読し、興味をもった事実を箇条書きでノートに書き、それぞれの事実に対する自分の意見や感想を書く。	<b>関</b> ：興味をもった事実をすすんで書いている。（ノート・発表）
第9時		～ を読み、「現在の主な炭の使われ方」について事例を正しく読み取り、整理した言葉をもとに「放送原稿メモ」を書く。	事例を整理するだけでなく、筆者の意図を考えさせる。
第10時	・炭の使われ方                      ・炭の構造上の特徴	<b>読</b> ：事実を正しく整理し、自分の考えをもっている。（ワークシート）	
第11時	・炭の働き	事例を整理するだけでなく、筆者の意図を考えさせる。	
第12時	～ を読み、「炭焼き技術の効用」について事例を正しく読み取り、整理した言葉をもとに「放送原稿メモ」を書く。	<b>読</b> ：事実を正しく整理し、自分の考えをもっている。（ワークシート）	
第13時	・炭焼きの作業                      ・作業がもたらす影響	事例を整理するだけでなく、筆者の意図を考えさせる。	
第14時	・なぜ炭作りは森を育てることになるのか。	<b>読</b> ：事実を正しく整理し、自分の考えをもっている。（ワークシート）	
第15時	～ を読み、「炭作りによって、トホ＝イリル村に起きた変化」について事例を正しく読み取り、整理した言葉をもとに「放送原稿メモ」を書く。		
	・トホ＝イリル村の問題		
	・炭の材料「ラバン」の特徴		
	・炭焼きがま		
	・炭を使って土を改良する方法		

<p>第 8 時</p> <p>第 9 時</p>	<p><b>表現の工夫</b></p>	<p>文章構成の工夫を、事例と筆者の考えを述べている部分、大きな段落どうしの関係について読み取り、話し合う。</p> <p>この文章を、筆者の言いたいことを中心に短くまとめる。</p> <p>これまで書いた「放送原稿メモ」から一つ選び、聞き手にわかりやすい放送原稿を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・放送原稿を書くポイントの確認。</li> <li>・牧野さんの原稿のよいところを見つける。</li> <li>・聞き手の立場で書く。</li> </ul>	<p><b>読</b>：大段落ごとに小見出しが書け、文章全体のつながりを理解している。(ノート)</p> <p><b>読</b>：文章全体の構成を考え、要旨をまとめている。(ノート)</p> <p><b>書</b>：聞き手を意識して放送原稿を書いている。(作文)</p> <p><b>書</b>：書こうとする話題について、事実と意見を区別して書いている。(作文)</p>
<p>第 10 時</p> <p>第 11 時</p> <p>第 12 時</p>	<p><b>情報の読み取り・整理・表現の工夫</b></p>	<p>自分のテーマにそって資料を調べ、事実を正しく読み取り、整理した言葉をもとに「放送原稿メモ」を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大きなテーマから、興味をもった事実を選び、正しく読み取り整理する。</li> <li>・それぞれの事実に対して、どのように考えたのか自分の考えを書く。</li> <li>・自分の考えをまとめて要旨を書く。</li> </ul> <p>「放送原稿メモ」をもとに、聞き手にわかりやすい放送原稿を書く。</p>	<p>調べたことは短く正確に書かせる。事実は二つか三つとし、一つのテーマでつなげて、自分の考えをまとめさせる。</p> <p><b>関</b>：自分のテーマにそって、取材しようとしている。(ノート)</p> <p><b>書</b>：聞き手を意識して放送原稿を書いている。(作文)</p> <p><b>書</b>：書こうとする話題について、事実と意見を区別して書いている。(作文)</p>
<p>第 13 時</p> <p>第 14 時</p> <p>第 15 時</p>	<p><b>表現を高める・実践・振り返り</b></p>	<p>グループごとに放送原稿を読み合い、番組の構成を話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同じテーマの原稿から放送する原稿を、評価の観点にそって選ぶ。</li> <li>・聞き手を意識して番組構成をする。</li> </ul> <p>友達とペアになり、アドバイスをしながら練習をする。相互評価しながら、原稿の手直しをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・聞き手としての受け取り方を話し手に伝える。</li> </ul> <hr/> <p>ビデオ撮影の手順と方法を知り、友達と協力して撮影をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アナウンサー、カメラマン、ディレクターの係がどんな仕事をするか聞く。</li> </ul> <p>ビデオを視聴し、わかりやすい伝え方であったか振り返る。</p>	<p>相互評価の観点 呼びかけや問題提示でひきつけられたか。 話の要旨はわかりやすいか。 事実をもとにした意見は、納得できるか。 聞いていてわかりやすい文章か。 聞き手に伝わるように資料や目線に気をつけていたか。</p> <p><b>関</b>：聞きやすい文章になるように、お互いにアドバイスをしたり、練習をしたりしている。 (観察)</p> <hr/> <p>社会科の情報単元「テレビ局のはたらき」の学習と関連づける。</p> <p><b>話聞</b>：聞き手を意識してわかりやすく話している。(ビデオ)</p>

## 本時の展開（本時 5 / 15）

### 目標

炭の使われ方やはたらきについて正しく読み取り，短く正確に整理することを通して，「放送原稿メモ」を書くことができる。

### 展開例

学習活動	指導上の留意点	評価・支援
<p>1 ~ 段落を音読し，炭の使われ方を読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・燃料（段落）</li> <li>・脱臭剤（段落）</li> <li>・浄水器（段落）</li> </ul>	<p>具体的な事例として，炭がどのように使われているかを短い言葉で見つけさせる。</p>	<p>日常の中で炭が使われている場面を想起させ，どんな場面のことが紹介されているか考えさせる。（イメージマップの活用）</p>
<p>2 脱臭剤や浄水器に炭が使われる理由を見つけ，サイドラインを引く。</p> <p>小さな穴がたくさんあいているから。</p> <p>においの成分を取り込む働きがあるから。</p> <p>汚れを取りこむ働きがあるから。</p>	<p>出された意見を整理して，炭の働きをまとめる。小さな穴にいろいろな働きがあることをおさえる。</p> <p>「～のです。」の文末表現で「この小さな穴に」を強調していることにもふれる。</p>	<p>挿絵も活用して，「このあな」の働きを読み取らせる。</p> <p><b>読</b>：炭が使われる理由がわかる言葉に線を引き，ノートにまとめている。（ノート）</p>
<p>3 これらの事例を通して，炭に対する筆者の見方・考え方を読み取る。</p> <p>炭は，さまざまところで使われていること。</p> <p>炭にはいろいろな働きがあること。</p>	<p>事例は，何かを伝えるために書かれていることを説明する。</p> <p>「しかし」「例えば」「また」などに着目させ，段落相互の関係から考えさせる。</p>	<p>「例えば」は，何を説明するための例なのか考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・段落には，それぞれどんな役割があるのか説明する。</li> </ul> <p><b>読</b>：文章の構成を考え，筆者の意図を読み取っている。（発言）</p>
<p>4 整理したことをもとに，「放送原稿メモ」を書く。</p> <p>いちばん伝えたいこと（要旨）</p> <p>事例（1）</p> <p>事例（2）</p> <p>自分の考え</p>	<p>教科書を見てしまうと，文章をそのまま写してしまうので，なるべく黒板に短く整理した言葉を使って書かせる。</p> <p>一文を短くし，難しい言葉は自分の言葉に直して書かせたい。また，敬体で書くことも指導する。</p>	<p>それぞれの事例ごとに，どのように考えたか自分の感想を書かせる。</p> <p>自分の考えをまとめて要旨を書く。</p> <p><b>書</b>：事実と意見を整理して書き，自分の考えをまとめている。（ワークシート）</p>

# 放送原こうを書こう

# 氏名

放送原こうの構成	放送原こうのメモ
あいさつ	
番組タイトル	
アナウンサーの名前	
<p>話の要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・何について話すのが。</li> <li>・いちばん伝えたいこと。</li> </ul>	
事例（１）	
事例（２）	
自分の考え	
終わりのあいさつ	